

医療用品 4 整形用品
一般医療機器 カテーテル被覆・保護材（JMDN コード：70444000）

ベニガード I V ドレッシング

再使用禁止

【禁忌・禁止】

＜適応対象（患者）＞

1. 感染した部位への使用。[感染を増悪させるおそれがある。]

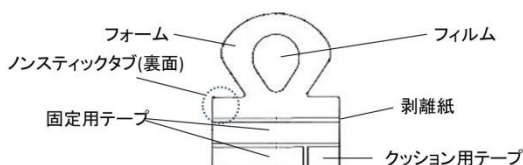
＜使用方法＞

1. 再使用禁止。
2. 再滅菌禁止。

【形状・構造及び原理等】

＜形状＞

本品は、粘着性を有する滅菌済み被覆・保護材である。



＜作動・動作原理＞

片面が粘着性のフォームとフィルムから構成される。カテーテルや注射針等の刺入部及びその周囲を固定する。

【使用目的又は効果】

＜使用目的＞

本品は、注射針又はカテーテル刺入部位に直接貼付してその固定に用いる、粘着性を有する滅菌済み被覆・保護材である。

【使用方法等】

＜使用方法＞

1. 医療施設の基準に従って、装着部位の皮膚を清潔にし、確実に乾燥させること。
2. カテーテルあるいはコネクタ等を留置する。必要に応じて、本品のクッション用テープをカテーテルまたはコネクタの下に貼付してクッション材として使用する。（図1、図A参照）
3. 本品を剥離紙から剥す。必要に応じて、本品を配置したあと粘着面を皮膚に接触させるためにタブを取り去ることも可能である。
4. フィルム部からカテーテル刺入部位が見えるように本品を密着させる。フォームの下部はカテーテル及びコネクタ等の下に配置したクッション用テープと部分的に重なるように接着する。（図2、図B参照）
5. フォームの上からカテーテルまたはコネクタ周辺をつまむ。（図3、図C参照）
6. 残りの固定用テープを使い、医療施設の基準等に従ったチューブセットの固定方法に合わせて固定する。（図4、図D）
7. 使用後は、カテーテルを固定し、フォームの一部からゆっくりと剥がす。アルコールまたは剥離剤付ティッシュ等を使用し、皮膚と接触する粘着面の下を拭き取る。この作業を繰り返し、ゆっくりとカテーテルまたはコネクタに密着している本品を剥がす。



図1～4: 手の場合



図A～D: 胸部の場合

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

1. 本品を剥離紙から剥す際には、ノンスティックタブから剥がすことを推奨する。
2. 本品を接着させた後、端まで密着されていることを確かめること。
3. 本品を引っ張って伸ばした状態で貼付しないこと。[皮膚障害や剥がれの原因となるおそれがある。]
4. 本品を皮膚から剥がす際には、はさみを使用しないこと。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 本品の貼付後、貼りかえないこと。[粘着が弱くなるおそれがある。]
- (2) カテーテルの動きは最小限にすること。[皮膚損傷となるおそれがある。]
- (3) 貼付前に適用部位の止血を行うこと。
- (4) 本品を扱うときには手を清潔にし、手袋を着用するなど、粘着面を汚染しないようにすること。[汚染した本品をカテーテル刺入部に貼付すると感染するおそれがある。]
- (5) 本品にカテーテル等の負荷が過度にかかる場合は、必要に応じて医療用テープ等で固定するなど補強すること。
- (6) 発汗、汚染が見られた場合および縫合糸や他の器具による本品の浮きや穴の発生などバリア性が損なわれた場合は交換すること。

2. 不具合・有害事象

本品の使用時には十分な観察を行い、次のような不具合・有害事象が現れた場合は直ちに適切な治療を行うこと。

(1) 重大な有害事象

1. 感染
2. 表皮剥離

(2) その他の有害事象

1. 発熱
2. 疼痛
3. 発赤
4. 浮腫
5. 異常な浸出液
6. 浸出液等の貯留による浸軟

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管上の注意

水濡れに注意し、高温、多湿、直射日光のあたる場所を避けて室温で保存すること。

＜有効期間＞

5年間[自己認証（当社データ）による]
本品のラベルの使用期限を参照すること。

***【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売元

コンメッド・ジャパン株式会社

製造元

コンメッド社(アメリカ合衆国)

CONMED Corporation